

青嵐（あおあらし）とは、「初夏の木々の葉をゆすって吹くやや強い風」、「青々とした山の気」などの意味がある言葉です。逗葉高校を吹き抜けるさわやかな風と、生徒の皆さんのたくましさをイメージしました。第1回は、始業式でお話した内容です。

逗葉高校の皆さん、始めまして。この4月より清宮校長先生の後任として、校長に着任いたしました大貫晶子と申します。

私はこの横須賀三浦地区で勤務するのは今回が初めてです。こちらでの勤務が決まった後、逗葉高校は美しい桜山の中にある、とても気持ちのよい学校だと聞き、着任の日を楽しみにしておりました。そして、4月、期待以上に美しい桜のトンネルを登り、足を踏み入れた学校からは、元気に響く生徒の声。ああこんな素敵な学校の校長先生をやらせてもらえるのだと、大変うれしくなりました。

これから先生方全員と力を合わせて、皆さんのさまざまな活動をサポートしていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひします。

さて、いよいよ新年度です。

2年生は中堅学年として、明日入学してくる下級生をリードしていく立場になり、年度の後半からは3年生からのバトンを引き継いで、あらゆる活動で学校をリードしていくこととなります。

3年生は、最高学年として学校を背負う立場となり、やがて3月にはこの学び舎を巣立っていくこととなりますが、その前に進路選択、進路実現という人生の中でも大事な場面を迎えることとなります。

2年生も3年生も健康に留意しながら、力を伸ばし、その力を遺憾なく発揮できるよう、しっかりと取り組んでもらいたいと思います。

年度の初めに当たり、皆さんに2つお願いがあります。ぜひ、心に留めていただきたいことです。

1つ目は、しなやかな強さを持つてほしいということです。

ただ、硬く強いだけでは衝撃に耐え切れなくなると、割れたり折れたりしてしまいますが、しなやかな強さは、柳が強風にたわんでも元に戻るような、柔軟でくじけない強さです。

皆さんは、「レジリエンス」という言葉を耳にしたことがありますか？これは「ストレスに対抗する力」として、心理学で使われている言葉です。「ストレス」とは「外から加わる要因（力）によって生まれる歪み」を意味し、「レジリエンス」はその「歪みを跳ね返す力」、「不利な状況におかれても正常な状態を維持する能力」という意味です。この

レジリエンスは誰の心にも備わっている力です。

実はこの「レジリエンス」は、日本人的な力ともいわれているようで、少し前ですが、サッカーの「なでしこジャパン」が2011年のワールドカップでアメリカチームに先制されながらも驚異的な粘り強さを発揮して逆転し、みごと優勝したとき、海外のメディアは「レジリエントなチーム」と賞賛したそうです。また5年前の3.11の未曾有な災害に対して、静かに忍耐強く復興に取り組む被災者の皆さんの姿に、世界の人々は「なんてレジリエントな国民か」と感動したそうです。

きっと皆さんも毎日のさまざまな活動の中で、困難や辛さに直面する場面もあるでしょう。そんなときのNGワードは「どうせ・・・」です。この言葉はレジリエンスを弱める言葉なのだそうです。

ですから、是非「私にはレジリエンスがある」「しなやかな強さを持っているから私は大丈夫」「だからやってみよう」と自分を励まして自分の中のレジリエンスを高めてください。

2つ目は人とかかわる力を伸ばしてほしいということです。

皆さんは、多くの人とかかわり、さまざまに協働したり、助け合ったりしながら、毎日生活しています。人とかかわることは、互いのよいところを吸収し合い、高め合えるなど素晴らしい成長をもたらしてくれるものですが、同時に、お互いに本当の意味では相手の考えていること感じていることが見えないためにさまざまなストレスを引き起こす原因ともなります。

最近では、違う考えだと感じるとすぐに相手を否定したり攻撃したりしてしまう人とか、違う立場の人とうまく折り合いをつけることが面倒で人付き合いを避けたり、相手の言葉に過剰に傷ついて自分や世間を否定してしまうような人が増えてきているという話も聞きます。

でも、私たちは一人きりで何かをなすことはできません。特に社会に出てからは、いろいろな場面でコミュニケーション力が求められます。ですから、学校での集団活動などを通して、人とかかわる力「社会性」を伸ばして行ってほしいのです。

人の脳は人とかかわることで発達し、それは一生続きます。相手の心を思いやるという行為は、非常に高度な脳の機能です。

皆さんは「リスペクト」という言葉をよく聞くのではありませんか？人とかかわる力を伸ばすには、相手を「リスペクト」する意識を持つことが効果的なようです。自分の考えをただ伝えるだけでなく、相手の言葉にもよく耳を傾け、自分も相手も尊重する心を育ててください。

以上、「レジリエンスを高めてほしい、相手をリスペクトする精神を持ってほしい」という2つのお願いをしました。この1年間の皆さんの成長と活躍に期待しています。

平成28年4月5日 校長 大貫 晶子